

青少年の自立を 支える会 通信

第4号 平成10年1月19日

発行/青少年の自立を支える会
所在地/宇都宮市南大通り4-2-18
☎・FAX 028(651)0161
発行責任者/伊達悦子
編集責任者/福田雅章

新年を迎えて

代表 伊達悦子

会員の皆様には、新しい年をいかがお過ごしでいらっしゃいますか。新年最初の会報発行にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

お蔭様で4名の子どもたちは、元気に「星の家」でお正月を迎えました。昨年7月の会の発足以来、実に多くの方々のご支援をいただきました。会費、寄付などの経済的支援はもとより、日常的な物品や食品、また炊事や宿泊ボランティアなど、どれだけ多くの方のお世話になったか知れません。改めて、厚く御礼申し上げます。

2年目を迎える今年、いくつかの事業を計画しております。チャリティーコンサート(1月)、講演会(2月)、電話相談(2月～)などです。これもまた、多くの方々のお世話になりながらの活動となりますが、どうぞよろしく願いいたします。講演会については、会員の方々との交流の場を持ちたいとの願いから、「星の家」からの報告や青少年問題のシンポジウムも兼ねて実施いたします。ぜひ、お出かけいただきたいと存じます。

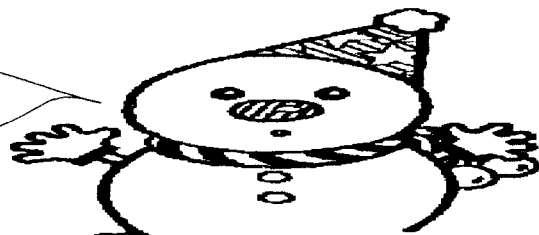
電話相談(『自立のホットライン』)につきましては、当面は週1回の実施ですが、電話相談ボランティアの方たちとの打ち合わせも済み、開始を待つばかりとなりました。1本の電話から、自立に向けて歩み出すことのできる子どもがいるとしたら、大変素晴らしいことだと思っております。

会設立1周年に当たる5月ごろには、記念事業を催す予定になっております。意義ある催しにしたいと、現在、事務局で案を練っているところでございます。

4月から施行の児童福祉法の改正においても、「支える会」が対象とするような子どもたちには、やはり陽はあたりません。法人格取得の問題も、意外なところで「オウム真理教」やその他の「悪徳」法人の影響を受けていることを実感した次第です。ですが、引き続き踏ん張って努力を続けてまいります。

以上、簡単に今後の予定など申し上げましたが、事務局体制もまだ十分に整っていない状況の中での活動のため、皆様にはいろいろとご迷惑をおかけする部分があるうかとは思いますが、どうぞ、本年もよろしく願い申し上げます。

今後とも
よろしくお願いいたします!!



星の家日記

明けましておめでとうございます。

昨年9月の開所から4か月が過ぎ、「星の家」も初めての正月を迎えることができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげと心から感謝しています。

家を貸して下さっている山田さん一家の細やかなお心遣い、ご近所の皆様の温かいまなざし、泊まりや家事を手伝っていただくボランティアの方々のエネルギー、そして役員・会員の皆様の期待と応援。それらのすべてに支えられて「星の家」はスタートしました。しっかりと安定した基盤を作るまでには、まだいくつもの大きな問題を解決しなければなりません。が、一步一步着実に進んで行きたいと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。

さて、開所してから月に1名のペースで入居があり、現在「星の家」では、5名の子どもたちが生活をしています。ホームができる前からの星家の同居人であった17歳のあけみさんは、「星の家」の最初の入居者として、引越しの時からいろいろと手伝いをしてくれる頼もしいお姉さん格です。なかなかいい就職先が見つからず、つなぎでホテルの清掃のアルバイトをしています。そろそろ旅立ちの段階かな？と、いう感じです。

9月の末にやって来たまさみくんは、12月に16歳の誕生日を迎えました。入居してすぐに、近くの塗装屋さんに就職したのですが、そこで信頼できる若い社長さんに出会い、なんと初めから2か月連続の皆勤賞で、しかも仕事が忙しい時には休日返上でがんばっています。一見ぶっくらぼうですがとてもやさしい心の持ち主で、周囲の人にさりげなく気を使ってくれています。うちの息子たちも大好きです。

10月に入居のせいいちくんも、16歳です。高校を中退して今まで働いたことがなかったのも、まだまだこれからという感じがしますが、映画が好きだったり、外国の絵本を部屋に飾ったりするというちょっと洒落たセンスの持ち主です。話してみると面白いのですが、恥ずかしがり屋で、まだ他の入居者とは話をする機会がありません。マイペースでやっていきたいほうだと思のですが、センパイとの関係で苦労しているようです。

11月には、自立援助ホームとしては今回限りの例外として児童相談所からお預かりした中学3年生のかおるさんが入居しました。卒業までの短い期間ですが、ここでじっくりとこれらを見つけてほしいと思います。一番下の息子（1歳）になぜか気に入られてしまい、いろいろと無理難題を吹かけられているのですが、いつも落ちついた雰囲気です。やさしく相手をしてくれます。

そして、年が明けてつい最近、18歳のまさひろくんが入居しました。働いてきた経験も長く、さすがに他のみんなと比べると少し“大人”の雰囲気を感じます。入居早々に独自のルートで鷲の仕事を見つけてきて働きはじめました。彼も見たい目はごっついですが笑顔がとてもいいです。

みんな「星の家」の仲間です。来たときには言葉も少なく、互いに何となくきこちなくなってしまうのですが、だんだんと話をしてくれるようになってくるのが、今の私たちにとっては一番の楽しみです。

ここが彼らにとって心安らげる「いい所」でありますように...

時には説教もしてしまうし、互いにイライラしたりムカついたりすることもするでしょう。それでも、泣いたり、笑ったり、怒ったり、喜んだりしながら、一緒に生活していける場がありますように...

そして、再び巣立つ日がきて、ここを離れる時がきて、心はいつもどこかにつながっている、一緒に生きている、そんな関係になれるように...

これを忘れずにいきたいと思えます。どうか、これからもよろしく願いいたします。



みんないっしょ。



支援の輪 (1998.1.6現在)

会員数 480 人
 会費・寄附金 7,426,886 円

前回 (1997.9.26)

会員数 423 人
 会費・寄附金 6,012,922 円

イベント情報



『青少年の自立を支える会』研修会

来る2月15日(日)に、教育、相談機関、自立援助ホーム、行政関係者によるシンポジウムと東京国際大学 小此木啓吾教授の講演により、青少年の“自立”の意味を考え、自立を助長する要因や阻害する要因を明らかにし、自立援助ホームについての認識を深めることを目的とした研修会を下記により開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

- 1 日時 / 平成10年2月15日(日)
2 会場 / とちぎ健康の森 講堂
3 内容

時間	内容
10:00	— 開 場
10:30	— シンポジウム テーマ「社会に旅立つことが困難な子どもたちに —社会的自立を支援するために」 ○コーディネーター 大 山 千 加 (青少年の自立を支える会会員) ○シンポジスト 教育現場から 小 林 幸 正 氏 (宇都宮市立晃陽中学校長) 福祉行政から 横 松 晃 氏 (栃木県南児童相談所 副主幹兼判定指導課長) 地域援助から 中 村 千恵子 氏 (ウイメンズコーディネーター) 支える会から 星 俊彦 氏 (星の家ホーム長)
12:30	— 昼 食 ~ 休 憩
13:30	— 「星の家」からの活動報告
14:00	— 講 演 『青少年の社会的自立を支援するために』 講師 東京国際大学 教授 小此木 啓 吾 先生
15:30	— 閉 会

4 参加費 / 会員 500円、非会員 1000円

※ 参加に当たっては、申し込みが必要です。(先着250名)

※ 昼食(弁当650円)を斡旋いたしますので、申し込み時に昼食希望の有無をご記入ください。

5 申込方法及び申込先

○ハガキ、ファックスで事務局まで申し込んでください。

〒321-0963 宇都宮市南大通り 4-2-18 自立援助ホーム『星の家』内
青少年の自立を支える会事務局

FAX 028(651)0161

6 後援

栃木県 とちぎ子ども学会 下野新聞社 朝日新聞社宇都宮支局
毎日新聞社宇都宮支局 読売新聞社宇都宮支局

美寿々すみ子さんによる「星の家」支援コンサート報告

昨年、11月13日にJR栃木駅の西側にあるサンプラザで、青少年の自立を支える会＝星の家支援のチャリティーディナーショーがあり、約200名を集める盛況なものとなりました。

また、開会の冒頭に美寿々すみ子（本名：渡辺澄子／支える会会員）さんから、支える会に対し、30万円ものご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ボランティアレポート / 矢野正広さん

今回のチャリティーディナーショーには、裏方ボラとして参加した。美寿々すみさんは、栃木弁の一流の話し手で、昔話、民話、童謡、さらには演歌なども語って歌ってしまう人で、普段は老人ホームや子ども会、公民館などでこの芸を披露している『芸能ボランティア』でもある。

当日のチャリティーディナーショーで食事をしながら美寿々さんの語りと歌を聞くという2時間。笑いや間の取り方も一流で、自称「素人おばさん」というわりには、かなりの“実力派”と見た。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

ところで、私たち「裏方ボラ」は何をしていたかということ、「舞台装置の入れ替え」「スポット照明」「受付」の3種類。モチロン台本に合わせて段取りよくやるのだ。

特に、舞台の仕切り係（舞台監督）と照明係は“演劇の心”を知っていないとできない。が、支える会にはそういう技術を持った人もいる（だからボランティアというのはスゴイ）。

みなさんも、思わぬ特技でボランティアができるかも知れません。今後のニュースレターで出てきている話題も要チェック!!!

あなたの手伝い待ってます！

2 / 7 (土) から電話相談がスタートします！

♡ 愛称は《自立のホットライン》です。♡♡

♣ 様々な相談に応じていきます。よろしくお願いします。

会員

の 声

～ 宿泊ボランティア 勝井史興さん ～

だんだん「星の家」に泊まるのに慣れてきた。はじめのころは、本を持ち込むとかしていたが、最近は寝る前がいいか、ぐらいにしか思っていない。

「星の家」には、「行ってみる」「遊びに行く」ぐらいのスタンスで構えておいた方がいいのだろう。

ここに来るようになったのは、昨年の秋からであるが、入居者の人たちはシンナーを吸い過ぎて歯がボロボロになった話だとか、パトカーに追われた話だとか、自分が今までに聞いたことのないような話をあたりまえのように、よく聞かせてくれる。

ある時は、部屋に入るとひとりぼっちで泣いている場面に出くわしたこともある。そんな時、自分は未熟だからか、いつも決まって言葉に詰まってしまうことになっている。

とりあえず、いま思うのは入居者のみなさんは、自分の体を大事にして、友人を大切に、好きなだけ寝てください、ということです。



青少年の自立を支える会 事務局

◇◇◇◇◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

〒321-0963 宇都宮市南大通り 4-2-18
自立援助ホーム「星の家」内
TEL・FAX 028(651)0161

★会員募集中！です。1口5,000円 [郵便番号/宇都宮 00140-3-366972 名義/青少年の自立を支える会]

★スタッフ・ボランティア募集！ どんなことでもお手伝いいただける方、お待ちしております。